



蒸し暑く感じる季節になり、梅雨を迎える時期です。園では室内での活動が増えますが、室内だからこそ楽しむことのできる内容を考えていきたいと思っています。また、アジサイやカタツムリなど、この季節しか出会えない題材にたくさん恵まれます。ご家庭でも、子どもたちに新しい気づきが生まれるよう、いろいろな物を見せたり、語り聞かせてあげてください。また、食中毒が流行する時期ですので、食事前の手洗いなどは欠かさないようにしましょう。



6月24日はプール開き(予定)です

子どもたちの心待ちにしていたプール開きの時期がやってきました。安全に気をつけながら水に親しむことの楽しさを子どもたちに学んでもらいたいと考えています。

プールに関してのお願い

- ・朝食は必ずとりましょう。
- ・朝、必ず体温をはかり、健康状態をよく見てください。熱のあるときや体調の悪いときは入水できません。
- ・雨天、気温の低い日、強風、行事のある日等はプールに入りません。
- ・耳あかをとり、手足のつめを短く切っておきましょう。
- ・病気がかかっている人は、早く治療をしておきましょう。とびひや水いぼ、傷口がうんでいたりする人は医師の許可がないと入水できません。特に健康面で心配なことがありましたら、事前にご相談ください。
- ・入水後は非常に疲れますので、休養をしっかりとするなどして、体調管理に気をつけましょう。



6月4日は虫歯予防デー

食後には必ず歯を磨く習慣を身につけましょう。歯が数本しか生えていなくても、ガーゼでふくだけでも予防になります。

おうちの方の努力が、子どもたちの歯が虫歯から守られます。年をとっても、自分の歯でごはんをおいしく食べられるように、がんばりましょう。

6月12日(火)

虫歯予防集会

西東京歯科医院から講師をお呼びして、歯の磨き方をしてもらいます。



- 3日(火) 園内職員研修
- 4日(水) 避難訓練
- 5日(木) 調理保育(くま)
- 7日(土) 懇談会(ひよこ)
- 10日(火) 虫歯予防のお話
- 13日(金) 職員健康診断
- 17日(火) グリーン東京訪問(らいおん)
- 18日(水) 体育指導(ぱんだ・くま・らいおん)
- 24日(火) プール開き
- 23~27日 身体測定週間
- 26日(木) お誕生日会
- 27日(金) 職員会議



ぺんぎん組

「はらへこあおむし」の絵本が大人気、あまりの集中ぶりに保育士も驚いてしまうぐらいです。なんと、最後の場面では感動して立ち上がって拍手する様子も見られるぐらいなのです!!
バスに乗りたいたいという話から、2人の子どもが言い「OOがバス(に乗るの)!」、「OOがバス(に乗るの)!」とそこで保育士が先生は飛行機と言うと、「アレ?」と言った顔で笑っていました。



ぱんだ組

折り紙のペロペロキャンディー作りが大流行。折っていくうちに、家の形や宝箱のような形になっていくのが楽しいようで、「あ!おうちみたい、屋根ができた!」(OOのおうちの屋根はきい)等、喜んで取り組んでいました。そして、ペロペロキャンディーが出来上がると、(子ども)「何の味がする?」(保育士)「う〜ん、みかんかな?、ザクロかな?」(子ども)「ブブー、メロンだよ!!」など、大さわぎでした。

ひよこ組

朝から外に出たく、窓をトントンたたいては外を指さし「アーアー」と…。それではと、窓を開けると、さっさとテラスに出て、なんと靴を出し、自分で靴を履こうとしていました。保育士が、「外で遊びたいのね、じゃあ帽子をかぶらないとね」と声をかけると、すぐさま帽子を取りに行きました。

くま組

かめのご公園で、大きなすべり台を、下から勢よく、登ってはすべるといふあそびを楽しそうにくり返し、登っていました。その中で一人、下から登るのが難しく、途中でいけないうちも…そこで保育士が、「助けてあげて」と、すべり台の上にいる子どもたちに声をかけると、全員が手を伸ばして、登れない子どもを助けてあげていました。本当に、みんなとってもやさしい子ども達ですね。

らいおん組

公園でくま組の2人が遊具の取り合い…そこに、ライオン組のお姉さんがどうしたのかと様子を見にやってきました。2人の子どもたちから事情をしっかりと聞いて、「この小さいやつも同じだよ」「何も変らないから大丈夫だよ」と話しかけていました。そうすると納得したのか、今までの言い合いが嘘のように、2人は何も無かったかのようにあそびだしました。さすがはらいおん組さんですね。



うさぎ組

アイクリップが今大人気!!「子どもはあそびの天才!」のことばどおり、本当にいろいろなあそびを考え出していきます。ズボンのすそにたくさんつけ、そのままだり、クリップがぶつかり合う音を楽しんだり、アイクリップをピンマイクに見立て、「お誕生日会ごっこ」や「運動会ごっこ」など、自分たちで考えたあそびをどんどん展開させ、毎日楽しんでます。

縦割り保育活動

太陽の子保育園では、幼児クラスで縦割り保育活動を取り入れています。年齢別活動・縦割り活動それぞれの良さをいかしながら、子どもの持てる可能性を子どもたち自身の力で開花していけるよう援助を行っています。

[縦割り保育活動]

異年齢の子どもとともに生活することによって、年上の子どもの面倒を見たり、年下の子どもの真似をし、着替えや手洗いなどやってみようとしていたりするなど、大人が関わる以外に子どもたち同士で育つことができます。

